

第二のホロコースト

2009年4月20日 アシェル・イントレーター

イスラエルの回復とイエシュア(イエス)の再臨は直接関係があります。イスラエルと終わりの時との関わりは次の3つの部分に要約できます。すなわち、**第二の降臨(再臨)**、**第二のペンテコステ**、**そして第二のホロコースト**です。

再臨は現実です。エルサレムで主が地上から天に上げられた時のように、主は天から地上へ、エルサレムに降臨します(使徒10章)。主の足は文字通りオリブ山に再び降り立つのです(ゼカリヤ14:4)。

イエシュアは「エルサレム」という場所にただ降り立つだけではなく、エルサレムの人々の元に降りられるのです。主はエルサレムの人々が主を王として迎えるまで戻らないと言われました。「**あなたがたに告げます。『祝福あれ。主の御名によって来られる方に。』とあなたがたが言うときまで、あなたがたは今後決してわたしを見ることはありません。』**(マタイ23:39)この御言葉の「あなたがた」とは誰でしょうか。それはイスラエルの民です。実際、最初にイエスを拒絶した同じ正統的なユダヤ人です。

第二のペンテコステ

再臨の前、世界的なリバイバルが起こります。このリバイバルは第一世紀にエルサレムで起こったものと似るものとなりますが、より広範囲です。「**神は言われる。終わりの日に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。(中略)主の大いなる輝かしい日が来る前に。』**(使徒2:17, 20)

あの同じ聖霊の炎が注がれますが、今回はエルサレムだけでなく、世界中のすべての人に注がれます。世界全体を覆い尽くすリバイバルの炎はイスラエルをも包みます。これはパウロの言う「**イスラエルはみな救われる**」(ローマ11:26)です。このリバイバルは再臨と死者の復活に連なっていきます。「**彼らの受け入れられることは、死者の中から生き返ることなくて何でしょう。』**(ローマ11:15)

第二のホロコースト

イスラエルのリバイバルは再臨の前提条件です。悪魔はイエシュアの再臨によって打ち負かされることを知っているので、悪魔の第一の目的はイスラエルの回復を物理的にも霊的にも止めることです。最終的には悪魔は必死になってイスラエルを破壊するために世界中のすべての国々を扇動します。

世界的な反ユダヤ主義とすべての国のイスラエルに対する戦いは、旧約、新約両方に最も頻繁に述べられている終わりの時の預言のテーマです。

黙示録 16:14、16、19:19

彼らはしるしを行う悪霊どもの霊である。彼らは全世界の王たちのところに出て行く。万物の支配者である神の大いなる日の戦いに備えて、彼らを集めるためである。

こうして彼らは、ヘブル語でハルマゲドンと呼ばれる所に王たちを集めた。

また私は、獣と地上の王たちとその軍勢が集まり、馬に乗った方とその軍勢と戦いを交えるのを見た。

この世界の諸国の王や軍勢は集結しイエシュアに対して戦いをしかけます(黙示録 19:19)。彼らは悪魔に促され悪魔によって集められます(黙示録 16:14)。この戦いはイスラエルのメギドの丘(訳注:ハルマゲドン)の周囲の平地においてクライマックスを迎え(黙示録 16:16)、そしてエルサレムに南下します(ゼカリヤ 14:2)。この戦いは霊的であり、同時に物理的なものとなります。



イスラエル・メギドの丘周辺の平地

2003 年高橋撮影

最初のホロコーストのように

イスラエルで私はこの記事を書いたホロコースト記念日(4月21日)の前夜に書いています。同じ日、国連が主催するダーバンIIとも呼ばれる世界人権会議がスイスで開催されました。会議はリビア、イランそしてキューバによって進められました。この会議は人種差別主義と戦うためのものですが、単にイスラエル非難を取り繕うためのものでした。アメリカ大統領のオバマ氏もこのダーバンII会議を「偽善的で非生産的だ。」と呼びました。

イランのアフマデネジャド大統領は基調演説者として予定されていました。アフマデネジャド大統領は何度もイスラエルの破壊を呼びかけホロコーストを否定しました。イスラエル人がヨーロッパで殺された600万人のユダヤ人を悼んでいる同じ日に彼がスピーチすることがゆるされているのは狡猾であり非常に腹立たしいものです。

来るホロコーストにおいて、聖書はイスラエルの三分の二が殺されると述べています。**ゼカリヤ 13:8「その三分の二は断たれ、死に絶え(後略)。」**最初のホロコーストは世界大戦の最中に起こりました。ユダヤ人と同様、何百万人の人々が周辺諸国で殺されました。第二のホロコーストでも同様の事が起こります。

もし三分の二のユダヤ人が殺されるとするならば、諸国で何人が殺されるのでしょうか、三分の一です。**黙示録 9:15-16「すると、定められた時、日、月、年のために用意されていた四人の御使いが、人類の三分の一を殺すために解き放たれた。騎兵の軍勢の数は二億であった。私はその数を聞いた。」**二億は200,000,000です。この数字は聖書の時代は想像を絶するものでした。現在の人口は推定67億6千万人です。その数の三分の一は20億人を遥かに超えるでしょう。

明るい終わり

この終わりの時に起こる第二のホロコーストや終末論的戦いのメッセージは人騒がせに聞こえますが、これには明るい終わりがあることを覚えて下さい。闇がより暗くなると、光はより明るくなります。**イザヤ 60:2「見よ。やみが地をおおい、暗やみが諸国の民をおおっている。しかし、あなたの上には主が輝き、その栄光があなたの上に現れる。国々はあなたの光のうちに歩み、王たちはあなたの輝きに照らされて歩む。」**

第二のホロコーストは第二のペンテコステと同時に起こります。そして両方とも再臨の大いなる勝利へと連なります。最初のホロコーストと第二次世界大戦はイスラエル国家の復活という結果に終わったように、第二のホロコーストと第三次世界大戦は地上の平和と繁栄の千年王国の誕生という結果に終わります。